



明野ふくろう便



明野中央病院広報誌

臨時便

新任医師のご紹介



牧野 剛典 (まきの たけのり)

専門分野：麻酔科

資格等：日本麻酔科学会専門医

日本集中治療医学会専門医

麻酔科標榜医

私は大分市（佐賀関町）出身で、山口大学を卒業後、初期臨床研修を経て大分大学麻酔科学講座に入局しました。その後、大分大学附属病院をはじめとした県内の医療施設において周術期医療に従事して参りました。この度、故郷に近いこの明野地区で麻酔科医として診療に従事できることを嬉しく感じております。

麻酔科医は手術を受ける患者さんの麻酔管理を行うのが主な仕事ですが、手術前の患者さんの評価や術前管理から、術後の痛みの管理や集中治療室での治療など、活動範囲は手術室内にとどまりません。私もこれまで手術麻酔を中心に、集中治療室における重症患者さんの全身管理に携わり、微力を尽くして参りました。手術や麻酔が行われる手術室は、非日常の空間であり、なかなか想像しがたく、眠っている間のことや痛みのことなどどうしても不安がつきまとうものです。その不安を少しでもやわらげ、手術を安心して受けていただけるように、安全な麻酔と患者さんの声に耳を傾けた丁寧な説明を心掛けております。わかりづらいことや不安な点はお気軽にご相談ください。皆様が安心して手術という大きなイベントを乗り越えられるよう、全力でお手伝いをさせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

新任医師のご紹介



松本 博文 (まつもと ひろふみ)

専門分野：整形外科、脊椎外科

資格等：日本整形外科学会専門医

日本脊椎脊髄病学会指導医

日本スポーツ協会公認スポーツドクター

インфекションコントロールドクター

整形外科の松本博文です。専門は脊椎外科です。高校時代の部活動で米国式の科学的トレーニングを導入し、めざましくチームメンバーのパフォーマンスが上がった経験から運動器に関わる仕事がしたくて整形外科医になろうと医学部に進みました。身長は高い方ではありませんがバレーボールのセッターを10年間していました（高校時代は主将でした）。左膝を壊して手術を受けました。その後1年間のリハビリと半年のトレーニングで現役復帰しました。しかし、その当時“40歳までもたない膝だ”と言われていたので、復帰戦で引退しました。今は全く運動はできませんので、専ら見る専門で、20年来のトリニータサポーターです。

大分医科大学（現 大分大学医学部）を1992年に卒業し、医師になって30年が経りました。20歳のときに左膝前十字靭帯断裂の再建手術を大分医大で受け（その時の担当医が中村英次郎先生でした）、縁を感じ、膝関節外科になろうと出身大学に入局しました。しかし、1997年、大学に戻ったその日に突然、脊椎班に配属され、以来25年間脊椎外科医としてやってきました。2003年に創設された脊椎外科指導医に認定され19年になります。

これまで患者さんへの丁寧な問診、診察、説明を大事にしてきました。医大勤務時代からの私の診療スタイルとして、外来診療や手術前説明が長いのが特徴です（あまり長いのも困りますが、全く変わりません）。手術以外の治療で症状が緩和するのが患者さんにとっては最も良い方法であると常に思っています。そうすれば自ずと“本当に手術が必要か？”、“それはどのタイミングか？”などがわかってくるという考えで診療にあっています。脊椎脊髄疾患は診断や治療の選択も難しく、症状がなかなか改善しなかったり、再び悪くなることもあり根気強く付き合っていく必要があります。お役に立てる事があればご相談ください。

最

新

機

器

紹

介

手術用顕微鏡 PROvido

(ライカマイクロシステムズ株式会社)

最新式の手術用顕微鏡を導入しました。手術部位の細部を鮮明、詳細に捉え、スムーズに手術を進めることができます。

手術の安全性向上への貢献が期待されます。



顕微鏡手術の思い出 理事長 中村 英次郎

古い話で恐縮ですが、私は昭和 62 年大分医科大学整形外科医局に入局し、高下光弘先生に脊椎外科手術の基礎を教えてくださいました。平成 6 年に熊本整形外科病院に赴任し、栄輝巳院長先生から手術用顕微鏡を用いた脊椎外科手術を教わりました。栄先生の顕微鏡下手術は、対面にいる助手の私にも非常にわかりやすく、出血もほとんどなく、とにかくきれいな手術でした。その時の驚きと感動は今でも記憶に鮮明であり、当時の手術記録は現在でも私の手術バイブルになっています。その後、大分中村病院にて山田秀大先生に師事し顕微鏡下手術の指導を受けました。

平成 8 年に私が明野中央病院に着任した時、大分中村病院から手術用顕微鏡を譲り受け（現在長崎大学医学部形成外科教授の田中克己先生が当時大分中村病院で使用していた形成外科手術用顕微鏡）、当院でも顕微鏡下脊椎手術を開始しました。

その後手術症例も増加し、平成 11 年の手術室改築の時にライカ社製手術用顕微鏡 M520 を導入しました。この M520 と最初に出会った時は、うれし過ぎて言葉が出ませんでした。それ以来 23 年間、この M520 は多くの手術で使用され（時には手術が深夜に及び日付が変わることも・・・）、私と共に病氣と戦ってくれた「戦友」になりました。しかし、その M520 も最近故障が多くなり、今年 5 月について引退となりました。長い間苦楽を共にしてきた友が手術室を去った日は、M520 の向こう側で助手をしてくれた先生、多くのスタッフの方々の顔が思い出され、淋しさに目を閉じていました。

M520 の後継機種としてライカ社製手術用顕微鏡 PROvido を導入しました。さすがに当然のことながら最新式の機種は素晴らしい機能を備えていますが、あまり誉めると M520 がヤキモチを焼くかな・・・？「ゲゲゲの鬼太郎」の作者の水木しげる氏は、「長い間使った機械には人の心が宿り妖怪になる。その妖怪に感謝すれば助けてくれる。粗末にすれば邪魔をする。」と書いています。M520 君、長い間本当にお世話になりました。心からありがとう！

外来担当医師のご案内

大分市明野東2丁目7番33号
TEL 097-558-3211
FAX 097-558-3709

担当医師名			月	火	水	木	金	土
内科	<u>院長</u> 木下 昭生	午前	○		○		○	○ (2・4週)
		午後		○	○			休診
	浜崎 一	午前		○		○		○ (1・3・5週)
		午後	○			○	○	休診
	山谷 いずみ	午前			○			
		午後						休診
整形外科	<u>理事長</u> 中村 英次郎	午前	○	手術	○	○	○	○
		午後	手術	手術	○ 15:30~	手術		休診
	<u>こつ・かんせつ・リウマチセンター長</u> 藤川 陽祐	午前	○	○	手術	○	手術	○
		午後		手術	手術	○	手術	休診
	<u>副院長</u> <u>こつ・かんせつ・リウマチ副センター長</u> 原 克利	午前	手術	○	手術	手術	手術	
		午後	○	手術	手術	○	手術	休診
	<u>こつ・かんせつ・リウマチセンター 脊椎外科部長</u> 吉岩 豊三	午前	手術	手術	○	手術	手術	
		午後	手術	○ 脊椎専門	手術	手術	○	休診
	松本 博文	午前	手術	○	○	○	手術	
		午後	○	○		○	手術	休診
	荻本 晋作	午前				手術		
		午後				○ 肩専門		休診
形成外科	<u>手・指外科</u> 大久保 ありさ	午前	手術	○		手術	○	○ (1・3週) つめ・たこ・ うおのめ外来
		午後	手術	○ 15:30~		手術	○ 15:30~	休診
※形成外科の診察は、原則として完全予約制です。受付窓口にてお申込み下さい。 外傷などの緊急性の高い患者さんはこの限りではありませんが、緊急性の判断は トリアージナースが行います。								
麻酔科	<u>パインクリニック</u> 高谷 純司	午前	○	○	○	手術		○
		午後	○	手術	手術	○		休診

QRコードを読み込むと当院ホームページの「外来担当医表」
「医師不在予定」のページへアクセスできます

